



TITLE:

雑報

AUTHOR(S):

CITATION:

雑報. 地球 1935, 24(6): 476-482

ISSUE DATE:

1935-12-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/184505>

RIGHT:

チーフな標題であるが、内容はこの標題に勝きつて、教訓的であり、抒情的であり、詩もあれば散文もある。全く讀むものをして恍惚描く能はざらしむるもの、實に才筆といふべきであらう。筆者はかうしたものを讀んで、然る後地誌を語るべきであることを多くの地理科の教員諸君に傳へたい。地理の教員は現に動きつゝある生きた世界を紹介すべき任務をもつからである。(藤川)

○支那の農業と工業

浦松佐美太郎 牛嶋友彦譯 岩波書店發行 一圓八十錢

原著はロンドン大學教授トーネイ教授が昭和六年に太平洋問題調査會に提出したものである。支那の歴史に通じたといはるゝ外國人が、いかに支那の社會を理解するに困難であるかをしめす十分な良著である。支那の社會は容易に門外漢にはわからないものだといふ事を教へられる丈けでも本書は譯述された價值がある。支那はどうするか、どうすればよいのか、筆者は本書を得て巻を終つて更らに大空に向つて再びこの言を發した。王道樂土の滿洲の出現を見た後に本書の求むる所は或は解決されるであらう。(藤川)

○信州寒天誌

池内精一郎著 信濃寒心太水産組合

長野縣には地誌の熱心家が多い。これもその一つで諏訪高等女學校の池内精一郎氏が寒天の組合から委嘱をうけて編纂されたもので、寒天の發明、丹波? から傳へた信州寒天の地

原及び、現在に至る迄の發達をのべ、併せて山梨縣大武川の寒天業、伊谷草による樺太寒天等の發展を語り關西では大阪・京都・兵庫にわたる丹波高原に存する寒天業をのべてあるから、日本の寒天に關する地誌はまとまつた形である。猶寒天の輸出狀況及其用途に及ぶ、最後に寒天に關する文獻目錄がつてゐる。非賣品とあるが申込によつて實費でわけて貰へると考へる。(藤川)

○日本北アルプス地方地圖 同 説明書附

信濃北安曇教育部會 定價六十錢

長野縣北安曇郡地方地圖を東京の小林又七で印刷して出版北アルプス旅行の乗とし、極めて親切な説明書がついてゐる村落・市街・交通路・山小屋・社寺等細大洩さず、帝國圖二十萬分一のやうな着色であるが十二萬五千分一であるだけに更に詳密であり教へらるゝ所が多い。六十錢は廉い。(藤川)

雜報

○ガルフコーストの石油

ガルフコーストとは米國ル

イジヤナ州東境よりメキシコ灣に沿ひて西にのび同州南部からテキサス州西南部リオ・グランデリウアに及ぶ、メキシコ灣岸七百里のことで、其幅は七十五哩乃至百哩に亘る地域である、元來地質時代にはメキシコ灣海底であつたが、海水が減

退した近代の新陸地で、其表面地層は化石によつてブライストーションといふことで其成生の新らしさがわかる。

この海岸は奥地に一日生産一千萬バレル（生産制限で四十萬バレル）の湧出能力ある油井數一萬六千に達し、世界最大のテキサス東部油田を始め、オクラホマ、テキサス奥地、カンサス各地にわたる油田を控へ海路東部諸州の大消費地と連絡し、精油工業殷盛を極めるが、海岸自身としても石油が出る、即ち一九三四年には本地域のみで原油採取高八千萬バレルに達した、合衆國の全體の一割にも足りないとしても其地下埋藏の石油資源は全國の約二割と概算され、近き將來には一萬呎以上の井戸を掘るやうにでもなれば、さうした深掘は砂地のルイジアナとテキサスのガルフコースト以外に候補地はないといはれる位である。

一八九八年ペンシルバニアで初めて石油の湧出が発見されて全國に影響し一八九二年テキサスのボーモントで試掘をなし、一八九九年ボーモントで食鹽や硫黃を採掘中圖らず石油と瓦斯埋藏の形勢を発見し、石油採取を試みたが一九〇一年になつて幸運にも深井一千百六十呎で大噴油をなし七十五萬バレルを噴出した（現在こゝで一萬呎を掘下げても精々三萬五千バレルしか湧出しない）

これが本地方の湧出最初の記録であるが次でルイジアナ州アカデミアでも同様の噴出があり、是等を中心として段々沿岸に延び、現在では噴油中のソールト・ドーム九十、油田總數

百六十に達した。

ソールト・ドーム (Salt Dome) 前記ボーモント市スピンダルトップの噴油は偶然同地の地下のソールト・ドームに掘當てた結果で、ソールト・ドームとは今日の所地下數萬呎に存する食鹽層で、この食鹽は恰も地上のヒュッテとかメサなどのやうに他の地層を突抜て地表近く隆起せる食鹽の柱狀突起であると想像されてゐる、昔ドームといつたのは地表面上の圓形丘地で、食鹽や硫黃を埋藏した土地を指したが、今日では地面上のみでなく、地下に存するものと雖も地質學上の想像でソールト・ドームといふのである、このドームの形狀は大小種々で、小は直徑數百呎から大は二三哩に及ぶ、高さは二哩乃至三哩で、其周圍にある地層中の石油をそのまゝ封込む形で、地に流散しない役目を果してゐると想像されてゐる、勿論石油噴出がソールト・ドームの所在地點には限られてゐるのではない。

本地域では一萬呎乃至三萬呎の地下はすべて食鹽層であつて、其の食鹽層中の突起がドームとして海岸一帯に存地し、食鹽層及び其突起の表面には砂や粘土や頁岩や石灰岩・泥土・砂・泥土といふ風に地層が堆積し、砂地と食鹽柱との接合點にオイルが集中してゐる、換言すれば含油砂層の向斜層（即ち噴油地）をつき破つて食鹽柱が突出してゐるといふ形であるので、ルイジアナ海岸及テキサス南部東部一帯に存する、就中ヒューストン地方殊に多い、猶メキシコ灣の海底にも同じ

構造があつて一九二七年ルイジアナ州沖合でドームを發見したものである、テキサス州沖合三十哩の地點に數百年前から海底石油の噴出が知れてゐて、水深十五呎の海上で舂舟でこの噴出の石油を採取してゐる。

最初このドームは周圍の地面よりも若干高い丘陵として發見され、降雨に際し附近の地よりも水捌けが早い點で案外容易に知られ、或は瓦斯又は石油の湧出口から發見された、今日は振子試験又は音波利用でドームを的確に判斷するやうになつた、

いづれにしてもこのドームは石油のリザーヴ地帯として注目すべきもので本年五月ニューオールリンスをさる十九哩許り、テキサス會社所有の油田で九、五七五尺迄掘下げ一日量二萬バレル湧出の報告を得た、この深度でこの量は世界に例がない、さうして其費用は一井十萬弗に過ぎないといふことである。

○ロシアの地下埋藏富源

石油は世界第一で其埋藏量は三十億噸世界の三分一をしめるが、これは實際に西比利亞・極東・中央アジア・ヴォルガ河畔・カルムイツコ・サールリスキエ草原や北極圏内には隨所に未調査の地、未發見の油田がある、石炭は世界的に第二位、歐洲で第一、其埋藏量は一兆二千億噸で、其大半はクズネツキー炭田及調査未了のツングスツキ及びベチョルスキ炭田に埋藏されてゐるが帝政時代の學

者は石炭富源を僅に二千三百億噸と決定したのに比べてこれは又大きい、泥炭資源も全く放置されてゐたが今日調査の結果一億四千萬噸と稱され世界の七割三分であるといふ、鐵礦について革命前に三十億噸と報告されたが、近年頗る増加し二千六百億噸、世界埋藏の二分一に達する、マンガン鐵は豊富で世界埋藏量の三倍に達した、ソヴィエト聯邦には實に六億五千萬噸を有する、銅・亜鉛・鉛・錫其他の金屬は昔は輸入してゐたが今日ではカラタウ山脈シエズカズガン・コウンランド・ボシチエクウル・ハブチエラング及びウラルのホルピンスキ高地等に發見されて、銅の埋藏は千七百萬噸、鉛は四百五十萬噸、亜鉛は九百萬噸、ニッケル七十萬噸と報告された、アルミニウム鐵も昔は皆無といつたが今は千五百萬噸を埋藏し、カリウム鹽も同じく百六十億噸を有し、現在外國外に輸出してゐる、燐鐵も百六十四億噸に達し、燐灰石が北極圏内不毛の凍土帯に五億三千萬噸を藏することが明になり、硫黃は中亞アジア及びボルガ地方で産地が發見され、金の埋藏は世界第二位であるから近く世界第一産金國となる、白金鐵業も共に發達した。

以上は第一流のものだが、この外にウォルフラムやラヂウムの發見もあるとの事で、ロシア學士院會員アルハンゲリスキーの恐ろしい自慢である、話半分としても大きいではないか。

○白耳義領「ハロー」

昭和九年度本邦の貿易市場としての
のアフリカ洲は輸出總額一億八千二百四十萬圓に上り中南米
市場よりも遙に上位をしめ、日本品の市場として關心すべき
土地となつたが、東部や南部アフリカに比べて、コンゴは
まだ十分に日本品が行渡つてゐない。

レオポルド二世の識見で白耳義領として統一した地域は本
國の八十倍に達し、現在行政上六州に分つ、人口土人約一千萬
白人一萬七・八千人、歐洲との交通路は歐洲とコンゴ河口マタ
デイに至る航路の外葡領西アロビト灣から内地に向ふベンゲ
エラ鐵道で、コンゴでの鐵道延長四千四百軒、建設費用三
十三億法であつた。コンゴ一本支流の水路一萬五千軒も航行
可能であり道絡も四萬二千軒延長した。

歐洲からアフリカへの航空路は既存の帝國航空飛行便の外
に、ブラツセルとレオポルドヴィル間の航空路設立計畫中で
ある。

キヴ湖エドワード湖の間に禁獵國立公園七十萬英反の設立
も出来てゐる。

一九三四年度に於ても一般の不況は變化なく、レオポルド
ヴィル、スタンレーヴィル等の中心地方の不動産は激落した。
たゞキロ金山附近だけ活氣がある。白耳義政府の課税が高い
ので人民は困つたが輸入外國品の値下りで事態は緩和したといふ、それも大部分は安價日本品の輸入増加によるといはれる。

一九三四年末白耳義官憲はアニオトス (Aniotos) 族の殺人
蠻行の再發に惱まされた。一名豹人といはる野蠻人の殺人で
ベニ地方に盛んである。この地方は叢林を以て蔽はれ幾多の
急流錯折し、地域廣く跋涉極めて困難で通貫道路が出来たけ
れども何時毒矢が飛ぶかもしれない。

この地方の土人には迷信があつて、豹人に殺されることを
運命と觀じ、もし豹人を殺人犯として官憲に報告すると必ず
自分も死に見舞はれるものと信じる故に殺されても決して豹
人にやられたとはいはない。猛獸に害されたといふ、豹人は
一週に二・三人は必ず殺すが、昨年未ベニ市街附近で慘殺さ
れたものも毎日あつた位である。

豹人は一種の護符を持ちこれさへあれば行爲に成功すと信
じ、其酋長は一種の藥をつくつて人間狩に用す手下の鼻腔に
入れて送くる。そこできつと敵を殺さないと、其藥で自分が
死ぬと信じ兇暴になる。土人間個人の土地又は婦人に關する
所有の争が原因で其係争の相手から豹人に頼むと、すぐに實
行するといふことである。迷信と恐怖とのこの生活を無くす
ことは目下必要な政治であると考へられる。

土人に農業を獎勵しロバスタ珈琲・棉花・メイズ・油種等
の農産を特に指導するので、ワンバ地方、ブタ地方で昨今棉
花の產額も増加してきたといはれる。

○中華民國々道路線網

現在の支那で最も重要な工作
の一である公路建設(自動車道)は國防・文化・經濟其他一切

の建設にとつて絶大の價値を有し國民政府は銳意その實現をはかり、現に二十萬軒以上の建設をなし（民國四年には既に二萬軒であつた）泥濘千里余く道のなかつた昔と今昔の感に堪えざらしめてゐる。殊に最近完成された滬粵線即ち上海廣東間二、八四八軒はフォードで百二十二時間で、上海瀋陽、汕頭廣東を突破し歐米の自動車路と遜色がない事を證明した。新しい時代の新しい支那の動脈として見るべき右の公路計畫は左の如くである。（但し民國十八年の公布せる道路で、今日では變化した處が多い）

一、京桂線（南京—廣西）南京・句容・長興・湖州・杭州・紹興・台州・溫州・興化・泉州・漳州・潮州・陸豐・海豐・廣州・肇慶・梧州・梧州・南寧・龍州

二、京滇康線（南京—貴州—西康）

南京・浦口・廬州・安慶・漢口・漢陽・沙市・常德・辰州・銅仁・玉屏・魏安・貴陽・安順・盤縣・曲靖・昆明こゝにて二線となり、一は普洱より車里、一は楚雄より大理大理より更に二に分れ一は西方永昌より騰衝に至り、一は北方麗江より巴塘に至る。

三、京藏線（南京—西藏）

南京・浦口・廬州・六安・固始・光州・羅山・信陽・桐柏・樊城・老河口・鄖陽・白河・興安・漢中・潼州・成都・雅州・打箭爐・巴塘・察木多・洛城・拉薩（南京より廬州は第二線と並川）

四、閩新線（福建—新疆）

福州・延平・邵武・南城・撫州・南昌・安義・陽新・鄂城・武昌・襄陽・老河口・鄖陽・西安・蘭州・嘉峪關・安西・狸狹・哈密・鎮南・齊台・綏來・烏蘇・伊犁

五、京蒙線（南京—蒙古）

南京・浦口・鳳陽（支線臨淮關に至る）・穎州・周家口・鄭州・清化・澤州・大康・大同・平地泉・涉江・烏得・叩林・庫倫・賈買城

六、京黑線（南京—黑河）

南京・浦口・六合・天長・淮陰・海州・沂州・濰縣・武定・滄州・天津・北平・承德・赤峰・開魯・洮南・龍江・嫩江・安暉・黑河

七、張遠線（赤峰—綏遠）

赤峰・朝陽・新立屯・新民・奉天・海龍・吉林・五常・方正・依蘭・臨江・綏遠

八、甘茂新線（甘肅—西藏—新疆）

西寧・鹽池・王樹・土司・拉薩・札什倫布・葷木・加托克・和蘭

九、綏新線（綏遠—新疆）

包頭・五原・寧夏・蘭州・西寧・敦煌・姑善・且未・于闐・疏勒

十、黑蒙新線（黑龍江—蒙古—新疆）

滿洲里・庫倫・烏里雅蘇台・科布多・承化・塔城・烏蘇

十一、迪疏線（迪化—疏勒）

迪化・土魯番・馬署・庫車・溫宿・烏什・巴楚・疏勒

十二、陝桂線（陝西—廣西）

潼關・西安・寶雞・漢中・瀘州・成都・廬州・遵義・貴陽・都勻・慶遠・都州・梧州

右のうち京黒線・張遠線・黑蒙新線は滿洲國の獨立と共に立消えとなり、現に滿洲國の手によつて新たる計畫のもとに公路が進行してゐる。猶以上九線は各四期に分ち十年完成を目ざして計畫された。目下築造中のもの京陝間九四八軒、汴粵間一六八〇軒、南京廣東間一、八七一軒、南京四川間一、二三九軒、洛陽・湖南間一、八〇九軒をはじめ揚子江南北各縣に立派な工事がすゝめられてゐる。

○アマゾン材木

アマゾン河流域の森林蓄積は豊富で約五億萬町歩といはれる。樹種も多く硬材としては他の追隨を許さず種類は五・六百種に上る。しかし單純林をなさずして利用價值のある材は散生してゐるから其選伐に土人の手を煩はしても手間がかゝるし、硬材だから河に流すと沈むといふ缺點がある故に浮をつけて流さねばならない。低濕林地では直徑六十糎以上の大木はなく二・三十糎のもので密生してゐるが、奥地には枝下高二十米、樹高四十米に達する大木が直立して交通も却つて便利である。商人は土人が流してくる筏を河の分流通點などに待うけて買とるのであるが、マナオス市はかうして下つてくるマホガニー材の取引中心である。ペレン市にて製材所があつて主として硬材を取引する。さうしてホルトガルやスペインへ枕木や土工用材として送られる。フォード自動車會社は自動車フレーム材として多くの硬材を輸入してゐる。

アグアノ即アマゾンマホガニーは優良材であり、アンデロ

ーバ・セドロといふ樹も棟料でマホガニーの類で硬度中等で加工しやすく家具に供される。

一九三〇年以後南米拓殖會社の手で、アマゾン材の多くが日本にも入つてくる。其量はまだ謂ふに足らないが、主としてアマゾン中流の材木でブラジルで家具や室内裝飾に用ふる類であるが、マカカウバといふ木は紫檀に酷似しバオサントは黒檀に類する唐木よりも加工しやすい。其他ハオアマレロは黃色、アンゼリンラジャドールは黃褐色に黒褐色の縞目があり、バオロシオーは暗紫色でバーブルハートといはれ、アカブは鐵刀木に似てゐるし、ローロフアイアは其根目が斑紋をなし、フレイジョーはチークに似て工作しやすい。將來は唐木の代用として色彩に富んだアマゾン材が大に利用されることとなるであらう。

○獨逸の森林

獨逸の森林面積は約千二百六十五萬ヘクタール、其生産額一ケ年四千二百萬立方米で木材需給上では輸入國である。さうしてこの數は日本内地と頗る近似する。兩國の人口は各六千三百萬人内外、日本の森林面積は千六百六十萬ヘクタールで三割方多い。しかし生産材は甲乙がない。即ち

	用材	薪材	計
獨逸	一、九七	一、三六	三、三三
日本内地	〇、六七	一、九三	二、五七

反別では獨逸は用材の生産割大にして日本の三倍であるが

薪材では日本内地の七割に當る、全體では獨逸が三割方多い。消費量で獨逸は三千九百萬立方メートルの内三千萬立方メートルは自國產だから約九百萬立方メートルを輸入するが日本は千百二十萬立方メートル消費のうち五百七十萬立方メートルは自國產で、五百五十萬立方メートル内外を輸入しなくてはならぬ。薪材は獨逸では石炭褐炭を用ひるから少量となつて、兩國共に輸入しなくてもよい、自給自足である。用材では獨逸は日本の三倍半を使用し其八割まで自給する點は、日本が其五割を海外に仰ぐのに比べて、優勝してゐると云ふべきである。産業革命以來針葉樹林が増加し、土地利用が集約となり、交通は年と共に完備してきたのでその生産量も増加したのである。

獨逸の森林の北半は砂地上に成立せる赤松林で他の半分は唐檜林を主とし南西部は樅^{ナラ}櫟等^{ナラ}の成産を増す。さうして針葉樹は全面積の七割をしめ其大部分は赤松と唐檜で、樅はこれにつぐ、この三種以外に日星しき樹種がないから、外國樹種の移植に多大の努力を拂つてゐる。潤葉樹林は約三割をしめ櫟^{ナラ}及若干の樺が主で林相は到る所相當整頓してゐる。獨逸林業今日の發展は、公有林が多いこと、私有林全部に對して國家が營林の監督を嚴にしたといふ二點に歸すべきであらう。

○珊瑚化石新產地

單體珊瑚の化石が小倉市外東谷村市丸の結晶質石灰岩中より、同地セメント會社技師小岩井隆理學士の手により採集せられたり。唯一個の標本なる爲



め其の斷面作製を許されず種類決定に苦しむも多分古生代に屬する珊瑚化石ならんと想像される。當地附近は二十萬分の一福岡幅に輝岩及角閃岩として時代未確定の地域なり。市丸の北方徳力の有孔蟲化石產地と合せ考ふるに興味深きもあり。(竹原)